

# 音楽で黒人差別と闘う

たたか



このページの目標

人種差別に抗議するブラック・ライブズ・マター運動は、アメリカの音楽界にも大きな流れを生み出しました。運動の内容や、音楽を用いた人種差別への抗議の歴史について学び、差別のない社会を実現するために何をすべきかを考えましょう。

答え

# 音楽で黒人差別と闘う

「ブラック・ライブズ・マター（BLM）運動  
黒人男性が暴行され死亡した事件をきっかけに始まった  
黒人への暴力や人種差別をなくすことを訴える運動。アメリカ  
だけでなく、全世界に広がった。ブラック・ライブズ・マ  
ター」は、「黒人の命も大切だ」という意味。

## BLM運動も影響

1 アメリカで黒人男性のジョージ・フロイドさんが、白警官に首を圧迫されて



デモ行進をする市民。フロイドさんが亡くなって1年がたち、事件を忘れないよう訴えた  
=2021年5月、アメリカ・ニューヨーク

死亡した事件から、2021年5月25日  
で1年となる。これを機に拡大した、人  
種差別に抗議するブラック・ライブズ・マ  
ター（BLM）運動は、音楽界にも大  
きな流れを生み出した。アメリカの音楽  
には、古くから差別に苦しむ人々  
が歌に思いを託してきた歴史があ  
る。

2 我々は何の理由もなく殺されて  
いる。アメリカの音楽界で最も権  
威のあるグラミー賞の舞台上で、ア  
フリカ系アメリカ人のラッパー、  
リル・ペーパーは、大きな怒りを  
前面に出し、警察や司法権力の不正  
を歌った。

3 ヒップホップに詳しい音楽ライ  
ターは「人種差別に対する抗議は、  
ヒップホップが生まれた1980  
年代からの大きなテーマ」とした  
上で、「2020年以来、アメリカ  
社会においてラッパーたちが立ち  
上がり、SNSなどを通じて

て人々の間に人種差別に対する意識の  
変化が広がっていった」と語る。

4 フロイドさんは「君が愛する前（アイ・キ  
ャント・プリーズ（息がでない）」と題  
し、歌手のハルは「この言葉をタイ  
トルにした楽曲を事件の3週間後に発表  
し、グラミー賞の最優秀楽曲賞を受けた。  
アフリカ系の人々を引く彼女が、歌の中  
でこう訴えている。「私には死ぬ、私  
たちには同じ権利はない」

5 日本の音楽評論家は「運動に共感し、  
差別と闘わんとするアーティストが増え  
た。同じマイノリティである女性やL  
GBTQ（性的少数者）の動きは特に活  
発だった」と分析する。ヒル・アメリ  
ツシユ白人のポップスターによる発言  
や作品による抗議も、非常に多かった。

6 アメリカの歴史を振り返れば、こ  
うした音楽を用いた人種差別への抗議は、  
ずっと以前からあった。黒人音楽の文化

に詳しい立命館大学の教授は「\*奴隷制  
時代は、黒人が集まって歌ったり、楽  
器演奏をしたりするのは禁止されてい  
た」と語る。そこから農民ら労働者が、  
作業のリズに合わせ歌う仕事歌は歌  
い継がれていた。中には、抗議の意味合  
いがある歌もあった」と話す。こうした  
歌は、農場主などの白人に抗議の意思が  
分らないよう、複数の意味に取れるよ  
う工夫した曲も多かった。

7 1865年の奴隷制は廃止されたが、  
差別は消えなかった。教授は「黒人が自  
らの境遇を主張するよう楽曲を表現して  
歌える環境ではなかった」と話す。こ  
うして差別に抗議したのには、1939年に  
ヒットした「奇妙な果実」だ。

8 南部の木々は、奇妙な実をつける。血  
は葉を流し、血は根に滴る。黒い体は南  
部の風が揺れる」という歌詞は、南部で  
多くの黒人が犠牲になったリンチ（私  
刑）による虐殺の際、木につるされる様

## 解答のポイント

それぞれ、次のようなポイントが読み取れて  
いるかを確認しましょう。



1

模範解答と同じような内容であれば正解。



2

第1段落にあるように「アメリカで黒人男性のジョージ・フロ  
イドさんが、白人警官に首を圧迫されて死亡した事件」は、2  
020年に起こりました。この事件をきっかけに、「人種差別  
に抗議するブラック・ライブズ・マター（BLM）運動」が拡  
大し、音楽界にも大きな流れを生み出しました。



3

模範解答と同じような内容であれば正解。



4

第2段落にあるように、アメリカの音楽界で最も権威のあるグ  
ラミー賞の舞台上で、アフリカ系アメリカ人のラッパーが警察や  
司法権力の不正を歌いました。第3段落にあるように、「20  
20年以来、アメリカ社会においてラッパーたちが立ち上がる  
ことで、SNSなどを通じて、人々の間に人種差別に対する意  
識の変化が広がっていった」と考えられています。



5

模範解答と同じような内容であれば正解。

第5段落にあるように、BLM運動に共感し、差別と闘おうと  
するアーティストが増えました。「同じマイノリティである  
女性やLGBTQ（性的少数者）の動きは特に活発」でした。  
また、「白人のポップスターによる発言や作品による抗議も、  
非常に多かった」とされ、「人種や年代を問わず、より幅広い  
属性の人々が運動を支持」しました。



が暗喩されている。詞を書いたのは白人だが、歌ったのは黒人のヒリー・ホリデイ（1916～59）だ。

⑨ 1960年代になると、「ゴスペルを原曲とした『勝利を我らに』など、黒人自身による歌が公民権運動をリードすることとなった。それから半世紀が経つてなお、先人が歌に託した希望は現せず、人種差別を題材にした楽曲が歌われなければならぬ現実がある。音楽評論家は「闘いが延々と繰り返され、本当に終わるのかは分からない。ただ、今回、黒人

以外の人々が多参加したことは、希望と評べるのかも知れない」と話す。

＊マイノリティー＝少数民族、人種や民族、宗教、性別、性的指向などの点で多数でない人や、社会的な弱者

＊奴隷制度とは、アメリカの農園や鉱山などで、アフリカの黒人を奴隷として働かせていた制度。1865年憲法改正で廃止されたが、00年以上続いた。

③ ①「人種や属性」とありますが、実際にどんな属性の人々がBLM運動を支持しましたが、記事に書きなさい。

④ ②「音楽を用いた人種差別への抗議」のため、奴隷制度時代の黒人は、どんな工夫をしましたか。記事を参考に書きなさい。

⑤ ③「闘いが延々と分らない」と考えられるのは、なぜですか。「半世紀」という言葉を使って、記事を参考に説明しなさい。

⑥ ④「闘いが延々と繰り返され、本当に終わるのかは分からない。ただ、今回、黒人

●右の記事を読んで後の問いに答えなさい。

1 BLM運動のきっかけとなったのは、どのような事件ですか。事件があった年と合わせて、記事を参考に説明しなさい。

2 2020年、アメリカで黒人男性が白人警官に首を圧迫されて死亡した事件。

3 「人種や属性」とありますが、実際にどんな属性の人々がBLM運動を支持しましたが、記事に書きなさい。

4 ②「音楽を用いた人種差別への抗議」のため、奴隷制度時代の黒人は、どんな工夫をしましたか。記事を参考に書きなさい。

5 ③「闘いが延々と分らない」と考えられるのは、なぜですか。「半世紀」という言葉を使って、記事を参考に説明しなさい。

6 ④「闘いが延々と繰り返され、本当に終わるのかは分からない。ただ、今回、黒人

差別のない社会を実現するために、私たちは何をすべきだと思いますか。あなたの考えを書きなさい。

人種差別に対する抗議の歴史について調べてみよう。

## こぼれ話

- ・ラップー ラップの歌手。ラップは、軽快なリズムに合わせてしゃべるように歌う音楽。
- ・ヒップホップ 黒人の若者が生み出した文化。音楽・ダンス・絵画などを中心とする。
- ・LGBTQ レズビアン（女性同性愛者）、ゲイ（男性同性愛者）、バイセクシャル（両性愛者）、トランスジェンダー（生まれた時の性別と自認する性別が異なる人）、クイア・クエスチョニング（性的指向や性自認が定まっていない人）など、性的少数者を表す言葉。
- ・リンチ 裁判などの手続きを取らずに行われる暴力的な制裁。
- ・暗喩 「〜のようだ」などの言葉を使わずに物をたとえる表現技法。隠喩。メタファー。
- ・ゴスペル 黒人の霊歌（宗教的な民謡）と、白人の賛美歌や聖歌が融合した音楽。
- ・公民権運動 1950年代から1960年代にかけて、アメリカの黒人などが人種差別に抗議し、法の下の平等や、自由と権利を求めて起こした運動。

4 模範解答と同じような内容であれば正解。

○第6段落にあるように、アメリカの歴史を振り返れば、「音楽を用いた人種差別への抗議は、ずっと以前から」ありました。奴隷制度時代、黒人の労働者たちは仕事歌を歌い継ぎ、中には抗議の意味合いがある歌もありました。黒人は「農場主などの白人に抗議の意思が分からないよう、複数の意味に取れるよう工夫して」いました。

5 模範解答と同じような内容であれば正解。

○第9段落にあるように、1960年代になると、黒人自身による歌が公民権運動をリードしました。それから半世紀が経つてなお、人種差別をなくすという先人が歌に託した希望は実現せず、「人種差別を題材にした楽曲が歌われなければならない現実」があります。

6 差別のない社会を実現するために、私たちは何をすべきだと思いますか、自分なりの意見を述べられていれば正解。

○第9段落にあるように、人種差別に抗議する「闘いが延々と繰り返され、本当に終わるのか」は分かりません。ただ、2020年以降のBLM運動に「黒人以外の人々が多く参加したことは、希望と呼べるのかもしれない」と考えられています。差別のない社会を実現するためには、私たちが差別を自分自身に関わる問題としてとらえ、自分の身近に差別がないか、自分が意識しないうちに差別に加わっていないかを考えた上で、社会に存在する差別に対して、抗議の声を上げる必要があります。○こうした点をふまえて、自分なりの考えをまとめましょう。